



**ROCK PAINT**

018ライン

# ダイナロック®Ⅲ

弱溶剤一液架橋型NADウレタン樹脂塗料

耐候性が良く用途が幅広い  
弱溶剤型でにおいもマイルド  
防藻・防カビ剤入りで硬化性良好  
鉛・クロムなどの重金属を配合せず、環境にやさしい

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

コンクリート

鉄・非鉄金属

F R P

木 部

硬質塩ビ



**ロックペイント株式会社**

# ダイナロック® III

ダイナロック III は、ターペン可溶の特殊架橋型樹脂を使用した、速乾性でかつ環境にやさしい一液架橋型 NAD ウレタン樹脂塗料です。耐候性、可とう性、付着性にすぐれ、外壁、鉄部、木部などの幅広い用途に使用できます。また、塗装作業性を重視し、従来品に比べて速乾性で、リフティングが生じにくい設計になっています。

## 特 長

### 1. 環境配慮型

- ホルムアルデヒドの放散等級は F☆☆☆☆ のため、建築基準法による室内の使用制限を受けずに使用できます。
- 原料に鉛・クロムなどの有害な物質を配合していません。

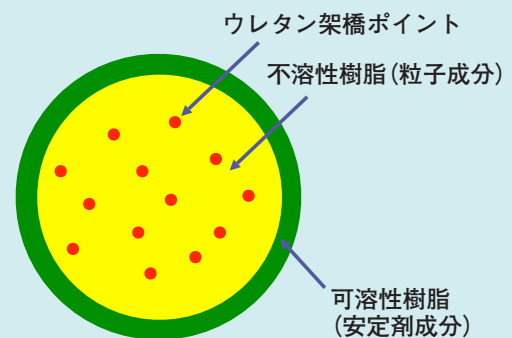
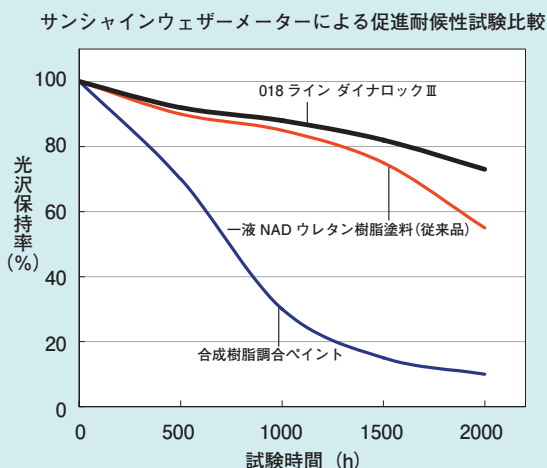
### 2. 耐候性、防藻・防カビ性

- ウレタン樹脂が有する特長と特殊架橋により、すぐれた耐候性を発揮します。
- すぐれた防藻・防カビ剤の配合により、建築物の表面を美しく保ちます。

### 3. 一液型

- 二液型塗料と違い配合の手間や配合ミスがなく、可使用時間の制限もないので塗料を無駄にすることがありません。

#### 耐候性比較



ダイナロック III 特殊硬化成分配合 NAD

## 4. 硬化性が良好

従来の一液型ウレタン樹脂塗料では

- 完全硬化が遅い、または硬化しない。→再溶解
- 塗料条件や温度により、リフティング（ちぢみ）時間が長い。

など問題点がありました。

ダイナロックⅢは、従来品に比べ塗り重ねられるまでの時間が短く、リフティングが起こりにくい設計で、低温時でも安心して塗装できます。

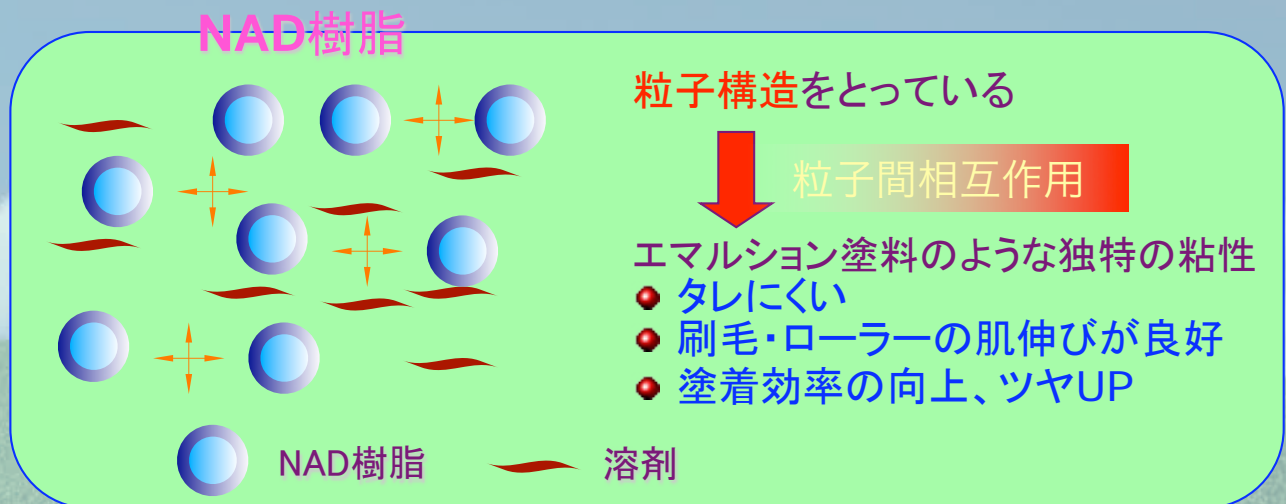
(23℃・膜厚 30 μmの場合、12 時間以上で塗り重ね可能。)

## 5. 弱溶剤・においがマイルド

塗料用シンナー(弱溶剤)で希釈するタイプですので、改修時など下地を侵すことがなくご使用いただけます。また合成樹脂調合ペイントのような独特の臭気はほとんどなく、においはマイルドなため、作業環境にもやさしい塗料です。

## 6. 塗装作業性が良好

NAD 樹脂の特性を生かし、はけ・ローラーの塗装作業性が向上したことで高塗着性になり、隠ぺい性が良くなりました。



## 7. 低汚染性

表面が緻密で汚れのつきにくいウレタン架橋塗膜を形成します。

### 用途 (適応素地)

#### 屋内外の塗装面

素地	コンクリート・モルタル	鉄 部	亜鉛メッキ	アルミ	木 部	硬 質 塩 び	軟 質 塩 び	FRP	アクリル板
新設及び塗替適性	○	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○ (注2)	○	×	○ (注3)	×

注1…金属部に塗装する場合は、下塗りに適性のあるさび止めペイントやプライマーが必要です。

注2…木部の塗装については木の材質等によりハガレ、ワレを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。

注3…FRP に塗装する際は、十分な脱脂とペーパーによる足付けを行ってください。

## 使用方法

### ● 希 釈 剤：塗料用シンナー

(他種のシンナーは塗料中の樹脂が破壊されますので使用しないでください。)

### ● 希釈割合：ハケ、ローラー 5～15% エアレス 10～20%(重量比)

### ● 乾燥時間：

(膜厚 30μm の場合)

気 温	10℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	60 分	30 分	10 分
塗り重ね可能時間	24 時間以上	12 時間以上	6 時間以上

(注) 乾燥時間は、気温、湿度、膜厚、色、素地の状態等により異なりますが、おおむね上記の表を参考にしてください。塗り重ね可能時間前に塗り重ねた場合には、リフティングを起こす場合がありますので注意してください。

## 使用上の注意

- クリヤー分が浮いている場合がありますので、使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 上塗り塗料の調色には必ず 018 ライン ダイナロックⅢ原色、またはロックトーンカララント 3000 (ベースの 3%以内) を使用してください。ただしロックトーンカララント 3000 で調色する場合、フラットベースの使用は避けてください。

## 性 能

項目		塗料種類	ダイナロックⅢ	従来品	市販品	合成樹脂 調合ペイント
光沢 (60° グロス)			85	85	85	82
完全硬化	30℃		5 時間	12 時間	未硬化	14 時間
	23℃		12 時間	24 時間		20 時間
	10℃		24 時間	48 時間		36 時間
耐水性			○	○	○	△
耐候性			○	○△	○	△
耐屈曲性 φ10mm (促進耐候後)			○	○	×	○

## 標準塗装仕様

(塗り替えの場合)

### 1 コンクリート、モルタルなど外装材の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラスティックフィラーⅢ <sup>(注1)</sup> 他	水	ローラー : 5~10	1	0.3~0.5	8時間以上
			エアレス : 5~10			
			砂骨ローラー : 1~ 5		0.8~1.5	
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	12時間以上

(注 1) 下塗り塗料の塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシガン、タイルガンも使用できます。

窯業系サイディングボード面には 032-2001 ロック SB フィラーも使用できます。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

※上記仕様に記載されている各種下塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

## 2 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットII 各色 <sup>(注2)</sup>	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 0～10 エアレス :10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックIII 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	12時間以上

(新設の場合)

## 3 コンクリート、モルタルなどの平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
<sup>(注4)</sup> 下塗り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチIII	水	ハケ、ローラー： 0 エアレス : 0 (通常不要)	1	0.07～0.13	3時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックIII 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	12時間以上

## 4 鉄部、非鉄金属部の平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又はSIS S13程度。じんあい、水分、油分は完全に取除く。					
下塗り	061ライン サビカットII 各色 <sup>(注2)</sup>	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 0～10 エアレス :10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックIII 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	12時間以上

## 5 木部<sup>(注3)</sup>の平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
素地調整	オービタルサンダーでP180～P240ペーパーを用い、汚れ、付着物、ケバだちを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要なときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051ライン ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス :10～20	1	0.12～0.20	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックIII 指定色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー： 5～15 エアレス :10～20	2	0.11～0.13	12時間以上

(注2) サビカットIIの他にサビカットプラスもご使用いただけます。

(注3) 木部の塗装については木の性質などによりハガレ、ワレを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

(注4) 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。下塗り塗料は他に 033-1160 ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、033-8150 エポシーラーマルチ (透明) もあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

※上記仕様に記載されている各種下塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

## 種類・容量

品番	品名	容量
018-0204	ダイナロックⅢ ハイホワイト	15kg
018-0021	ダイナロックⅢ ムエンエロー	3kg
018-0024	ダイナロックⅢ ムエンファインエロー	15kg 3kg
018-0025	ダイナロックⅢ ムエンメジウムエロー	3kg
018-0233	ダイナロックⅢ オーカー	15kg 3kg
018-0029	ダイナロックⅢ ムエンオレンジ	3kg
018-0210	ダイナロックⅢ レッド	3kg
018-0040	ダイナロックⅢ シンクレッド	3kg
018-0225	ダイナロックⅢ オキサイドレッド	15kg 3kg
018-0075	ダイナロックⅢ シアニンググリーン	3kg
018-0080	ダイナロックⅢ ロイヤルブルー	3kg
018-0036	ダイナロックⅢ バイオレット	3kg
018-0234	ダイナロックⅢ ブラック	15kg 3kg
018-0255	ダイナロックⅢ 破風チョコ*	15kg
018-0536	ダイナロックⅢ シルバー	15kg
018-0095	ダイナロックⅢ フラットベース	3kg
018-H103	ダイナロックⅢ ウィークホワイト**	15kg
018-9001	ダイナロックⅢ 調色品	15kg 3kg



※ 018-0255 破風チョコの色彩は、日塗工255色です。

※※018-H103 ウィークホワイトは、店頭調色専用のホワイトでそのままご使用できません。

## 関連下塗り塗料

品番	品名 (色彩・タイプ)	容量	
051-1531	ロック木部用マルチ下塗り	ホワイト	16kg・4kg
051-1532		チョコレート	16kg・4kg
051-1533		ブラック	16kg・4kg
032-2106	ビニロックエラストックフィラーⅢ (白)	16kg	
032-2001	ロックSBフィラー	15kg	
033-1179	ロックカチオンシーラーマルチⅢ (透明)	15kg	
033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	15kg	
033-8150	エポシーラーマルチ (透明)	14kg	
061-1540	サビカットⅡ (1液型)	赤サビ色	16kg・4kg
061-1541		グレー	16kg・4kg
061-1542		ホワイト	16kg・4kg
061-1544		ブラック	16kg
061-3530	サビカットプラス (1液型)	赤サビ色	16kg
061-3531		グレー	16kg
061-3532		ホワイト	16kg

## 施工上の注意

- 塗る面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率 10%以下、pH9.5 以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が 5℃以下の場合や、湿度 85%以上での塗装は避けてください。(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかることがあります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 調色にロックオンカラント 3000 を使用する場合は、018-0095 フラットベースは使用しないでください。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したり、たれや色分かれの原因になります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。(例えば、一度に所定量以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また、塗付量が少ない場合や、希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事があります。)
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆タイプを使用しています。塗装工程上 F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 金属部の塗装には変性エポキシ系のさび止め「サビカットプラス」、「サビカットII」をご使用ください。2液型エポキシ系下塗り材は使用できません。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や、下地処理方法によって、付着不良やリフティング等の塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れてくる事がありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー S」を塗装してください。またプライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、剥離、収縮割れが発生する場合があります。
- サイディングボードは種類により塗料が付着しにくいものがありますので、ご注意ください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- カウンターやテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 木部の塗装については木の材質等によりハガレ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。
- 内部の塗り替えて、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 木部塗装で釘頭には、サビカットIIなどを塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いてさびを除去(二種ケレン)してからサビカットIIなどを塗装してください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ツヤ調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。また、塗り継ぎや補修の際にツヤむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種下塗り塗装には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるさび止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように、換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくると発熱し、自然発火の恐れがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 上塗り鮮やかなエロ系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。

◆引火性の危険物のため、取り扱いの際には製品容器の注意書および安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

## 安全衛生上及び取扱上の注意

### 〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。
- スプレーダストや塗料の付着したウエス等は発熱し、自然発火するおそれがある。

### 〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上 40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

### 〔施工後の安全性について〕

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- 安全データシート（SDS）をよく読んで取り扱ってください。



# ロックペイント株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000  
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304  
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号 渡正ビル201 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255  
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966  
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：